

TAC・Wセミナー 2024・2025年度合格目標

国家総合職内定者アドバイザーホームルーム

第4回『国家総合職合格への道～一年の計は元旦にあり～』

オンライン 1月19日(金)18:30～19:30

新宿校 1月24日(水)16:30～17:30



無断複製(コピー等)・無断転載等を禁じます。

本日の予定

1. LAの自己紹介
2. 各試験区分の記述対策
3. 政策論文対策
4. 各試験区分の勉強スケジュール
5. 官庁訪問の実際
6. 今後の告知

【HRとは】

私たち国家総合職内定者アドバイザー(LA)が皆さんの勉強と官庁訪問対策をサポートする機会です。内定に近づくための6回のHRを用意しています。

基本的に月一回のペースで新宿校とオンラインにて開催する予定です。内定者スタッフが就活生だった去年の同じ時期に不安に思っていたことや、欲しかった情報などを徹底的に分かりやすくお伝えしたいと思っています。

途中入場・退出は自由です。日ごろの勉強の息抜きに、小さな悩みを解消するために、内定者にしか分からない話を聞きに、お気軽にご参加ください！

LAに寄せられた質問やその回答についてもその都度このHRで紹介したいと思っているので、そちらも併せてご利用ください。

【今後の予定】

第5回HR

「国家総合職合格への道～？？？～」

内容:官庁訪問の噂と真実・志望動機カウンセリング(仮)

2/9(金)18:30～19:30 オンライン

2/14(水)16:30～17:30 新宿校

第6回HR

「国家総合職合格への道～？？？～」

内容:官庁訪問対策・二次試験に向けた直前準備(仮)

3/21(木)16:30～17:30 新宿校

3/26(火)18:30～19:30 オンライン

【LAの自己紹介】

曾山 稔理

内閣府/慶應義塾大学法学部法律学科/法律区分

【併願先】厚生労働省、衆議院事務局総合職、
参議院法制局総合職、東京都庁、国家一般職、
(横浜市役所、裁判所事務官)

【訪問先】内閣府、厚生労働省

【講座】法律本科生

【専攻】刑法

【得意科目】憲法、行政法

【苦手科目】民法、専門記述

【しておいて良かったこと】省庁説明会への参加、官庁訪問自主ゼミへの参加(2次試験後に始まります)、TAC内
定者ホームルームへの参加(毎月新宿に行っていました！)

【マイブーム】計画性を高める、髪を伸ばす

【メッセージ】あけましておめでとうございます！LAとして、皆さんを全力でサポートしていきたいと思って
いますので、今年もよろしくお願いします。🍷



北 圭佑

デジタル庁/横浜国立大学経済学部経済学科/経済区分

【併願先】人事院

【訪問先】デジタル庁・人事院

【講座】経済本科生

【専攻】財政学

【得意科目】数的処理、経済原論

【苦手科目】社会科学

【しておいてよかったこと】説明会に積極的に参加すること、
官庁訪問自主ゼミ、ランニング

【マイブーム】UVERworld、

【メッセージ】経済区分のことなら何でも聞いてください！

個人的にデジタル庁の雰囲気が他省庁と比べてかなり自由で上司との距離感が近いということをお伝え
したいです。

質問や相談、何でも気軽にどうぞ！！



高崎 萌寧

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】農林水産省、民間(コンサル)

【訪問先】外務省、農林水産省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】民事訴訟法

【得意科目】文章理解、数的処理

【苦手科目】政治学・国際関係

【しておいて良かったこと】

TACカウンセリング、省庁イベント参加(双方向コミュニケーション可能
もの)、民間就活(自己分析に役立ちます！)

【マイブーム】ぐみ(カンデミーナ)

【メッセージ】

TACの勉強スケジュールに則って勉強できていなくて不安だなあって方ぜひ短期型の勉強方法について
ご相談ください！

民間就活との両立についてでも何でもお気軽にご相談ください！



な

吉田 統磨

外務省/早稲田大学法学部/政治・国際区分

【併願先】経済産業省、民間(WEB広告、総合商社、JAXA等)

【訪問先】外務省、経済産業省

【講座】政治・国際本科生

【専攻】国際法

【得意科目】政治学、国際関係、憲法、国際法

【苦手科目】数的処理、自然科学

【しておいて良かったこと】

①採用担当との個別面談・イベントの参加

②自己分析(ほぼ毎日)と面接練習(週4)

【マイブーム】美術鑑賞、歴史の学び直し、旅

【メッセージ】

試験対策をしている間、不安で眠れない日もあれば、解ける問題が増えて嬉しい日もあります。あまり気
負いすぎる必要はありませんが、就活が終わった際に「やりきった」と思えるよう、一日一日を大切に過ご
していただければと思います。



高田 萌奈

農林水産省/東京外国語大学言語文化学部/教養区分

【併願先】国土交通省、民間企業(金融)

【訪問先】農林水産省、国土交通省

【講座】1.5年法律本科生

【専攻】イタリア

【得意科目】文章理解、官庁訪問

【苦手科目】数的処理、企画提案

【しておいてよかったこと】省庁イベントへの積極的な参加

【マイブーム】社会人でも続けられるような趣味を探ること

【メッセージ】

皆さんの不安を解消できるよう、自分自身の経験も交えながら、全力でサポートさせていただきます。1対1で内定者カウンセリングも行っておりますので、お気軽にお申込みください！農林水産省ちょっと興味あるよって方、官庁訪問対策今から何できるかね～と悩んでいる方、最近黙々と勉強しているからなんか雑談がしたい気分かもという方、ぜひ(^^)／



【各試験区分の記述対策】

勉強計画の立て方

①逆算して計画を立てよう

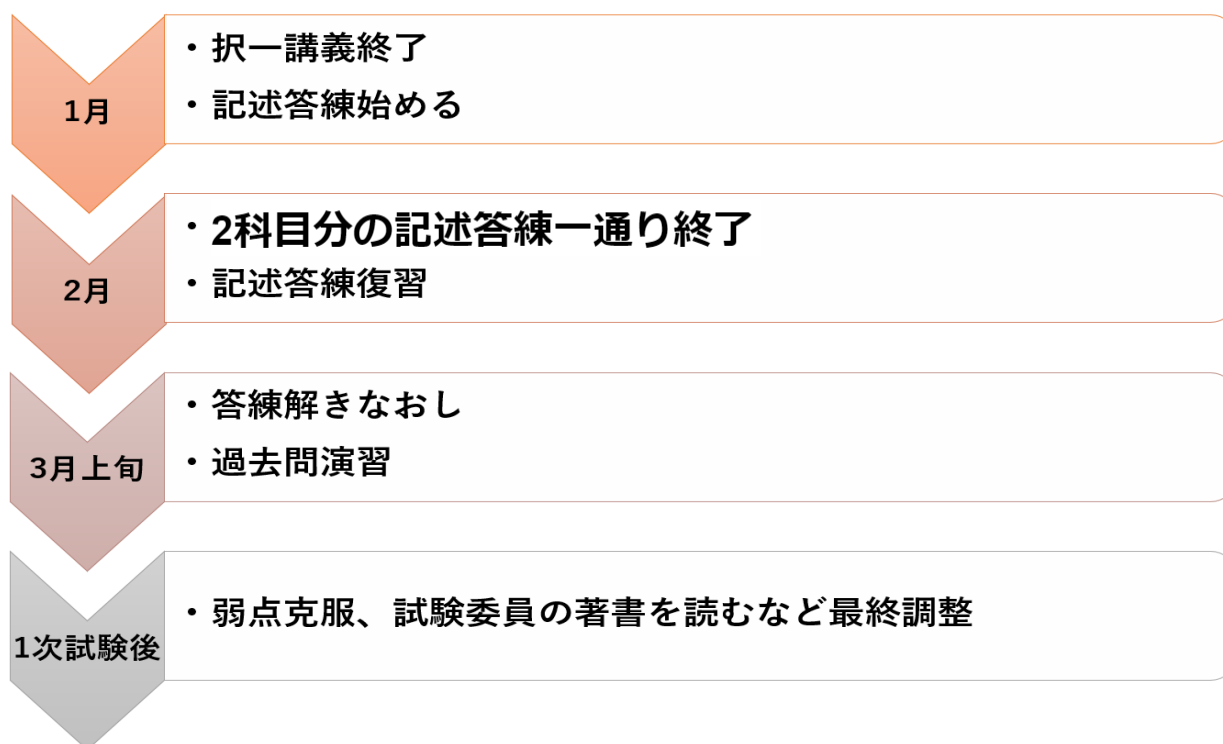
一次試験から二次試験までの間は答案をたくさん書くほどの時間の余裕はありません。

その時期は、過去問を見て論点を抽出し、答案構成の練習をすることがメインになると思います。

3月中旬以降は一次対策に費やすことを考えると、二次試験対策にじっくり時間をかけられるのは今から3月上旬です。3月は過去問を使って答案を書く練習をしたかったので、2月のうちに各科目の答練をやり切り、提出しました。答練は基本的に時間内で書ききる感覚と集中力を養うことを目標に臨んでいました。

みなさんも択一を固めつつも2、3月で記述の対策を一通り終わらせられるように学習計画を立てましょう！

(＊参考)



②メリハリのある勉強を

勉強計画を立てる中で、区切りがあると勉強にメリハリがつけます。一番分かりやすいのは模試ではないでしょうか。1月、2月、3月に模試があるので、模試に照準を当てて勉強を進めていきましょう。模試でどの科目で何点取ることを目標にするのか、そのためにどこを補強していかなければならないのか。まずはそこを明確化します。

そのうえで、模試までの残りの日数で終わっていない答練に時間を測って取り組む、出題頻度が高い分野の過去問に取り組むといった事を日々のやるべきことに落とし込んでいくことで勉強計画を作っていきます。二次試験を照準にすると目標が遠く、イマイチ締まらない勉強になってしまうのではないかと思います。近くに目標を設定し、それに向けてやるべきことをこなしていく方が先が見えやすいです。模試などの力試しイベントごとに、二次試験での目標点に到達するために順調に勉強を進められているのかを

確認し、勉強法の軌道修正をしていけると二次試験という遠い目標に向けて着実に近づいて行けると思います。

(参考:2023年度 国家総合職試験 大卒程度 記述試験)

区分	法律	政治・国際	経済
満点	60	60	60
基準点	18	18	18
平均点	31.525	31.725	32.561

【法律区分 専門記述対策】

①まずは択一知識の勉強を

論文の問題を前にして全く筆が進まない、となると、そもそも択一の知識が十分ではない可能性が高いです。論文試験を受けるには択一試験に合格する必要があります。まずは択一テキスト及び択一の過去問題集に取り組みましょう。その際に、重要用語の定義・頻出論点・重要判例はある程度自分で説明できるようにする、など論文を意識した勉強をしてみましょう。

また、憲法と民法は専門記述テキストの巻末にある論証集も活用しましょう。5行程度で重要テーマがまとまっているため、そのまま記述として使えます。一言一句暗記する必要はないので、大まかにでも内容を説明できるようになりましょう。

②論文講義の受講、答練の提出は計画的に

講義だけ見るというのは一つの作戦ですが、今自分が持っている知識だけでなんとか文量のある答案を作り、客観的な視点で添削してもらうというのは、貴重な訓練になります。知識に自信がなくても積極的に挑戦してみましょう。なお、答練の添削には期限があるので、答案提出は計画的に行いましょう。

③記述復元テキストについて

過去問を解いた際には、テキストの模範解答と併せて、記述復元テキストも活用しましょう。限られた年数分にはなりませんが、過去の先輩の答案を読むことができます。このくらい書けばこのくらいの点数がもらえるのかと、うっすらでも感覚をつかんでおくと思いいます。

④今年度について

今年度から、論述の選択数が3問から2問に減ったことで、多少は準備しやすくなるかと思っています。また、2次試験の倍率も1次試験に比べればだいぶ下がります。

ただし、油断は禁物です。論点が全く分からない、みんなが書けている知識が書けない、スカスカな答案になった、などとなれば厳しい戦いになってしまうかと思われます。1次試験の前に出来る限り対策を進めておく、1次試験が終わったら速やかに2次試験対策に移ることを、ぜひ意識しましょう。

(1)憲法

知識無くして論述は書けません。択一と同じように、**TAC**のテキストを使って常に知識を入れ続けましょう。憲法は特に判例が重要です。判例の事件名を見ただけで、どのような事件か、論点は何か、結論は何かを思い出せるようにしましょう。

他には、テキストの最後に載っている論証集を覚えましょう。一言一句丸暗記するのではなく、タイトルを見てざっと内容を説明できれば十分かと思っています。私は毎日30分～1時間ほど時間を取って、数テーマ

ずつ覚えていきました。

また、憲法は過去問にない論点をいきなり聞かれる可能性もあるため、典型的な論点以外にも色々な考え方に触れておきましょう。下に書いた参考書を息抜き程度にざっと読んでみたり、答練や模試で出てきた論証をファイルにためて電車で見直したりしていました。

＜使用したテキスト・参考書＞

TACのテキスト、『憲法演習ノート 憲法を楽しむ21問』(宋戸常寿、弘文堂)

(2) 民法

＜主な対策＞

①テキストを使つての基礎知識入れ

毎日1時間ほどテキストを復習する時間を作っていました。論文で聞かれそうかつ自信がないテーマを中心に、条文内容や判例の暗記を行いました。もちろんこれは択一対策にもなりました。

②TACの専門記述教材

TACの論文対策の教材といえば、論文講義と答練だと思います。用意されているものはしっかり利用しようと思い、まずは論文講義の論証集解説部分を視聴しました。次に、過去問を新しい年度から解いていき、論文講義及び答練講義内の解説を視聴しました。専門記述テキストに模範解答と解説が記載されている数年分は解いたと思います。あまり多くはないので、1回1回、論点の抽出ができているか、書いた知識に間違いはないかを確認し、日々のインプットにつなげられるようにしましょう。見直しの際は、特に、物権なのか債権なのか/どの条文からくる請求権なのか/結論が問題の解答と適合しているかを中心に確認しましょう。

なお、これは個人の見解ですが、六法が配られない試験なので、条文番号の暗記を頑張る必要はあまりないかなと思います(重要かつ頻出なため、択一勉強をしているうちに自然と覚えてしまうような条文は除く)。条文番号を忘れても、条文の内容や要件等を正しく記述できれば十分だと思います。

＜使用したテキスト・参考書＞

TACのテキスト

(3) 行政法

＜主な対策＞

①テキストを使つての基礎知識入れ

なるべく毎日、択一テキストを使って知識を入れるようにしていました。その際に、論文で頻出の定義(処分性など)や訴訟要件を特に意識して暗記しました。

②過去問演習

行政法は他の科目と比べても、過去に出た論点が出やすい科目といえます。過去問を解き、論文講義及び答練講義内での解説を聞き、論点抽出や知識の正確さを確かめました。過去問演習を重ねるうちに、どのような論点が出やすいのか、初めて見る条文をどのように読み解くか、コツがつかめるかと思えます。

＜使用したテキスト・参考書＞

TACのテキスト、『行政法入門』(藤田宙靖、有斐閣)

(4) 国際法(過年度)

※万が一のためのサブ科目として用意していました。

＜主な対策＞

①テキストを使つての基礎知識入れ

1日1単元を必ず復習し、忘れないようにしていました。時間は約1時間くらい。

②判例の背景事情を探る

国家間の争いであることからイメージがつかみづらいことが多かったため、民法と同じように常に図示

をしつつWikiなどで背景事情を調べストーリーとして記憶しました。国際法はあくまで国家間を規律する法律であることを念頭に置くことが大切であるように思います。

③ある程度で答案練習を繰り返す

答案練習は当然重要ですが、他の科目と比べるとそこまで問題内容が難しいものは無かったので、他の科目を優先し、論述方法は流用することで効率良く学習しました。知識部分を中心に学習時間を確保しました。

＜記述対策として択一の勉強で意識したこと＞

択一で要求される知識量が充分に入っていれば特に国際法の論述は書くことができます。そこで、専門択一としては3問しか出題されませんが、その3問を確実に全て正答できるようにすることが論述対策となります。

(5) 公共政策A・B(過年度)

- 政策論文対策を流用することができるため、効率性を重視するのであればとても有用です。また、本番時にどうしても解けないとなった時の保険としても心強い科目と言えます。資料を参照していることを明確に示し、目的・方法・適切性等を多様な観点から検討し、答案に記述しましょう。
- Aは法律を用いた事例、Bは経済に関連した事例が提示されます。事前にニュースや政策を知識として用意しておき、その場で反映させましょう。

【経済区分 専門記述対策】

・講義の受け方、答練の使い方など全科目に共通するアドバイス

①勉強はなるべく計画的に行う

専門記述の勉強は、講義の密度も濃く、答練も1科目仕上げるだけでも約80分かかるため、時間や体力を消耗しがちです。本番も長丁場になるため、本番直前に焦って勉強を進め、体力を使い果たすのは避けたいところ。また答練には提出期限が設定されていますが、「期限までに仕上がらず添削を受けられなかった…」というようなことがあっては非常にもったいないです！講義はなるべく日程表通りに受講し、答練もすべて期限内に提出できるように逆算して仕上げましょう。

②わからないところ、できないところをそのままにしない

講義でも答練でも、疑問点が出たらすぐに講師の方に質問をすることを意識していました。また、答練の2周目や過去問を自己採点で解く場合は、解き終わったらすぐに採点し、どこが出来ていないかを分析するようにしていました。疑問点やできないところに対しては、時間を置いてしまうと「今ならわかる/できるはず」と過度に楽観的になりがちです。そうならないためにも疑問点や自分に足りない点はすぐに解き明かし、確実にできるようにしていきましょう。

(1) 経済理論

＜主な対策＞

専門記述の方が択一より難易度が高いように思われがちですが、専門記述で求められる知識は、択一の基礎～標準レベルです(難化した年はその限りではありませんが...)。そのため、問題を解いてみて全く歯が立たない場合や、解説を読んでみて意味が理解できない場合は、まず択一の問題を復習してみると良いと思います。

また記述では、択一を解く際は自明とされてきたような語句の定義や計算の説明を求められることがよくあります。当たり前のことを説明するのは意外と難しいので、何度も書く練習を重ねて、そのような「前提を問う問題」にも対応できるようにしておく方が良いです。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

上述の通り、国総の記述は「前提を問う問題」が多いため、公式がどのようにして成り立つのか、どのような時にどのような定理が成り立つのかを択一の勉強の際から意識していました。グラフを用いて理解すると、状況と定理や公式が結びつきやすく、単なる暗記にとどまらない理解ができるのでおすすめです。

〈使用したテキスト〉

TACのテキスト

(2) 財政学

〈主な対策〉

記述の財政学の問題は、知識を記述する問題と計算をする問題の2つのタイプに分けられます。

知識を記述するタイプの問題は穴埋め問題や重要語句の定義を問う問題が多いです。特に穴埋め問題はほとんどの受験生にとってラッキー問題になりやすいので、過去問で間違えた問題はよく復習して確実に点をとれるようにしたいです。また語句の定義を問う問題は、過去問を解き、苦手な分野やよく間違える語句については択一の財政学(制度)のテキストを参考にしながらまとめノートを作るといいと思います。

計算するタイプの問題は、過去問を解けば出題傾向が掴めると思います。まずは過去問の演習を繰り返し、時間に余裕があれば途中過程を意識して択一の財政学(理論)の問題を解くと良いでしょう。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

知識問題に関しては、択一、記述ともに制度や定理をしっかりインプットしていることが求められていると感じたので、財政学(制度)のテキストの章末のチェック問題を活用したり、自分なりにまとめノートを作ったりして、とにかく重要な語句を暗記できるようにしていました。

計算問題に関しては、経済理論と同様のことに気を付けていました。

〈使用したテキスト〉

TACのテキスト

(3) 経済政策(過年度)

〈主な対策〉

記述の経済政策は、問題の当たり外れが激しい印象です。経済理論で出題されてもおかしくないような計算問題が出題されることもあれば、聞きなれない経済用語を説明しろという問題が出題されることもあります。

対策としては、過去問を解き自身で出題傾向を掴むことと試験委員の先生の専門分野を押さえておくことの2つだと思います。計算問題は頻出の分野が結構あるのでそこを押さえましょう。また、経済用語を説明する問題(もちろん計算問題もですが)は試験委員の先生の専門分野が反映される可能性があるため、受験年度の試験委員の先生の専門分野は把握しておくようにしましょう。

〈記述対策として択一の勉強で意識したこと〉

計算問題に関しては経済理論と同様です。説明するタイプの問題に関しては特にありません。

〈使用したテキスト・参考書〉

TACのテキスト

(3) 公共政策

〈主な対策〉

公共政策は政策論文対策で得た知識や記述のコツをほぼ使い回せるため、私は公共政策の記述対策として特にこれといったことはしていませんでした。しかし、公共政策は政策論文と比べて資料の数が格段に多く、時間配分には相応のテクニックが求められます。そのため、余力があれば答練や過去問を繰り返し解いて、自分なりの時間の使い方を研究しておくと思いいます。

〈使用したテキスト〉

TACのテキスト、日本経済新聞

【政治国際区分 専門記述対策】

・講義の受け方、答練の使い方など全科目に共通するアドバイス

科目の選択は、初学の方であっても、政治学・国際関係ABの3題の中から本番解けそうな問題を2題選ぶことがおすすめです。万が一、解けそうな問題がなかった場合は、公共政策Aを保険として想定するのがよいでしょう。

(1) 政治学

〈主な対策〉

●吉田

択一に比べて出題範囲が限定されるため、初学者でも選択しやすい科目です。議会制度や民主主義など、頻出テーマの用語説明を自分の言葉でまとめて暗記すると、本番も焦らずに書くことができます。また、年々問題文が長くなってきていることも踏まえて、みなさんには「出題者が解答者に何を求めているのか」という点にしっかりと想いを馳せてほしいと思います。

頻出テーマがあるのと同じように、頻出の論点があります。講義を見ながらまずはインプット、答練でアウトプット、不足している知識をさらにメンテナンス、そしてもう一度確認のアウトプット。年明けから二次試験直前にかけては、この黄金サイクルを目指してほしいと思います。とはいえ、ヨシダのサイクルが本格的に回り始めたのは一次試験後と記憶しています。

●高崎

記述対策を本格的に始めたのは、一次試験後です。

私は勉強開始時期が遅かったこともあり、一次試験までは択一の暗記を主にしていました。択一の暗記をする中でも、記述の勉強に役立ちそうな暗記の仕方を心がけ、単純な用語の暗記だけでなく、思想同士の比較や、大統領制と議院内閣制の比較などを意識的に暗記するようにしていました。(その方が暗記もしやすいかなと個人的には思います！)

また、政治学は出題範囲がある程度限定されている科目なので、頻出分野の勉強に傾斜をかけて勉強すると点数が取りやすいと思います。

答練の提出期限が、一次試験翌日とかだったので、答練は少しだけやっていました。ただ、前述の通り答練を十分にこなす知識がなかったので、一次試験から二次試験の間にやるべき勉強を見極めるために答練を少し行っていました。(といいつつ、一回しか出せてないですぴえん)

具体的には、以下の方法で答練していたので、ご参考までに！

①まずは、何も見ないで答案構成をする。

②何も見ないで答案構成をした中で、分からなかった知識をピンポイントでTACの教科書で確認して自分なりの答案構成を作る。

③教科書の問題に係る分野該当箇所を読み込んで、そのうえで答案構成をする。

④③の答案構成(それほど差異がない場合は②の答案構成でも可)に基づいて実際に答案を書く

この方法で答練をすると、自分足りない知識が浮き彫りになり、合格答案までに何が足りないのかを確認することができます。勉強がまだ足りていないなとう方でもこの方法ならば、答練を有効活用できるのではないかと思います。

1次試験後の勉強では、答案を実際書いてみるというよりは、過去10年分の答案の起案を中心に行っていました。答案の起案は、一次試験前の答練と同じ方法でしていたのですが、そのうえで合格者答案を見比べて、評価されるポイントは何か、自分には何が足りないか、自分に足りない知識を補うためには教科書のどの部分の暗記が必要かを見極めるようにしていました。

無理により答案を書くのではなく、合格点に達する答案を書ければよいと思っていたので、教科書に載っている以外の知識はいさぎよくあきらめ、自分の実力で書ける答案の中でベストな答案を書く練習をしていました。(時間があれば、作問者の方の著書や論文に目を通すことが有益ではあると思うのですが、時間がなかったのであきらめて、根本的な理解が疑われるようなことを書かないことと基本的なことは書けるようになることを心がけていました。

また、模試や答練の振り返りをして、減点対象となった部分を確認するようにしていました。

<使用したテキスト・参考書>

TACのテキストのみ

(2)国際関係A・B

<主な対策>

●吉田

国際関係A・Bの違いを簡単に説明すると、与えられたテーマ(主張)に対して、従来の国際政治における理論をもとにその是非を論じていくのが国際関係A、与えられた英文(原文)をまずは読んでから、テーマを捉え、主張を捉え、同じく理論を用いて解答を作成するのが国際関係Bです。特にBの方は、知っていて当然の概念(抑止力「deterrence」、国家安全保障「national security」)や言い回し(万人の万人に対する闘争「the war of all against all」)など、文章の内容を理解するための「キーワード」が、わからないとその時点で終了してしまうことがあるので注意が必要です。

論文対策を進めるにあたっての心構えについて一点お伝えすると、学者の理論は、現代の国際社会を捉えるための「大枠」です。それらのフレームワークについて、みなさんが答案上で「妥当である」と主張するためには、過去の世界史の流れとそこに登場するアクター(国家、国際機関など)の動きといった「(大枠に対する)中身」の部分を正確に知っていなければなりません。これらの①理論・概念②歴史の流れ③国際機関・組織に関する暗記と理解は、独立のものではなく相互に補完しあうものであると理解したうえで対策していくとより効果的です。ぜひ、論文対策を効率良く進めていくためにも、この点は択一対策の段階から意識していただければと思います。

●高崎

私は、政治学とほとんど同じです。ただ、国際関係の世界史的な部分について勉強するときは、年表を実際に書いてみたり、自分なりに紛争についてまとめたりして、暗記よりも理解を深めるように気をつけていました。また、国際関係Bは問題が英文になっているので、国際関係の理論の重要単語は英語で覚えていた方がよいかなと思います。

また、問題を出す立場になって物事を考えるようにしていました。例えば、世界史的な部分については、単なる暗記の知識を問うてる問題にならないように、出来事と出来事の因果関係がポイントとなっている部分(キングストン合意など)についてどのように回答をしようか考えたりしていました。横ぐしの勉強を心がけていました。

＜使用したテキスト・参考書＞
TACテキストのみ

(3) 憲法

問題文が法律区分と同じなので法律区分の対策を参照してください。

(4) 国際法

問題文が法律区分と同じなので法律区分の対策を参照してください。

(5) 行政学

本番のヨシダは、それまで対策していた政治学でなく保険科目として用意していた行政学を選択しました。行政学の良いところは、(理論については)基本的に政治学と同じ勉強法で対処が可能である点、これまでの行政改革の内容・官吏登用制度・小泉政権下での首相権限強化など、出題の目星が付きやすい点だと思います。勉強内容としてはやはり「政治学の知識と隣接している部分から」対策を始めるのがよいです。

多くの場合、設問が二題構成となっているので、解けそうな部分をしっかり描いて、自信のない部分は部分点を拾っていく、くらいの感覚でよいと思います。ヨシダの場合も(1)だけしっかり回答し、(2)は出題の趣旨がわからなかったため、思いつく限りの回答をしてとりあえず点数を拾って125点ほどだったと記憶しています。

(6) 公共政策A・B

公共政策A・Bは保険の科目として考えてくださればと思います。公共政策Aは、政策論文と同じような雰囲気解くことができる場合が多いので、特におすすめです。

一度過去問を解いてみて、問題の種類や形式だけ勉強してもらえれば、それ以外の公共政策用の勉強は特に必要ないのではないかと思います。LA高崎も本番では公共政策Aを選択したのですが、公共政策の勉強は無しで150点取れたので、資料を基に文章を組み立てることが苦手でない方なら大丈夫課と思います！

【政策論文対策】

・政策論文とは

政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験

1 政策論文の採点方式(試験全体の2/15)

採点方式:職員2人が独立して採点し、合算

2023年:満点10点、基準点4点、平均5.974点 → まずは6点を狙おう!

2 政策論文の採点基準

①問題の理解

出題の主旨を正しく理解し、設問に沿った解答を行っているか

出題に関連する基礎知識及び問題意識を有しているか

②思考・判断(資料の使い方)

広い視野から多角的に考察しているか

問題を深く掘り下げて論じているか

既存の知識や情報を論述するだけではなく、自らの思考に基づいた意見を述べているか

適切な判断・結論を下しているか

③構成

論理に矛盾や飛躍が無く、論旨が明確になっているか

全体として適切な構成になっているか

④文章

文章に説得力があり、論文として格調を備えているか

正しい用字、用語で書かれているか

・対策方法

LAが使用していた参考書

TAC:政策論文テキスト・時事(社会事情、国際事情)テキスト、復元答案集、答練

その他:日本経済新聞(有料版)、NHK時論公論、試験委員の先生の本、『速攻の時事』、『行政課題・政策論のポイント』

LAの勉強方法

曾山(法律)

➤勉強方法

・政策論文の答練の講義を聞く。

・復元答案を見て、どんな構成でどのくらいの内容を書けばいくら点数がもらえるのか、イメージする。

・NHKの時論公論や新聞、TACの時事テキストを使って時事の勉強。

➤良かった点

・復元答案集は役立ちました。高得点の人は文章がわかりやすく主張がまとまっていたため、自分も本番ではそのような答案が書けるように意識しました。

➤悪かった点

・専門科目の勉強を優先した結果、ほぼ答練の答案を書けなかったことです。人に見てもらう機会は大変だったと思います。

高崎(政治国際)

➤勉強方法

文章を書くことは比較的得意だったので、資料の使い方を勉強していました。資料の使い方は、TACの政策討議の答練の機会を利用して学びました。以下のような順番を意識して解いていました。

- ・まずは、資料ごとにどのような内容を話しているのかを考えます。
- ・次に資料ごとの関係性を考えます。(例えば、ABCの資料があったときに、ABは同じような意見でCは異なる意見など)
- ・最後に、作問者がABCの資料を選択した意図を考えながら、論題を分析して、自分の態度・施策を作り出していく

私は、施策に対する幅広い知識があまりなく、かつ施策を勉強する時間もそれほどなかったので、資料の分析や論題を必ず正確に捉え、自分の態度は突拍子もないことを書かないことを目標にして解いていました。

➤良かった点

資料の使い方や文章構成の仕方はしっかり対策していたため、ほとんど理解できていない政策であったけれども最低限の点数は取れたことです。自分の新しい知識をほとんど書かなくてもどうにかなったのは良かったかなと思います。

➤悪かった点

本番は自信満々で臨んだのですが、結果的に点数が悪かった(6点)ので、非常に反省しています。理由としては圧倒的な知識不足であると感じています。政策研究がかなり必要だったと思うので、講義動画を見たりせめて模試の問題で出た分野についての政策をしっかりと研究すればよかったなと非常に後悔しています。

吉田(政治国際)

➤勉強方法

頻出の分野や日本の主要課題(行政のビックデータ利用、人口減少、社会保障制度)などについては、親書レベルで良いので予めインプットしておくと思います。幅広く手を付けてしまうと時間がいくらあっても足りないので、自分の苦手な分野や、頻出(だと思う)分野について絞って対策するのがよいと思います。ただ、出題の予想を的中させるというよりも、あくまで試験前の不安を取り除く程度のイメージでよいと思います。

➤良かった点

多くの合格者答案を見て、良いと思った部分を真似したこと。形式(導入・結び)や構成の雰囲気や真似したこと、客観的な指標がなく自分で良い答案が書けているか不安な中でも点数が取れる答案を書くことができた。

➤悪かった点

書いても書かなくてもいいような「資料のまとめ」を冗長に書いていたこと。構成が浮かばず、書きながら考えたい気持ちも分かるが、「シンプル」かつ「的確」に、資料からわかる問題を指摘し解決策を提示するのがよい(と自分の答案を見て思った)。

高田(教養)

➤勉強方法

あまり差がつかない試験だと捉えていたので、平均ちょい上を取るための最低限の対策を行っていました。具体的には、どのような問題が出題されるのか過去問数年分で確認した後、実際に時間を測って解く練習を答練にて行いました。

➤良かった点

内容面について: 完成した論文を、TACの講師や大学の公務員アドバイザーに見てもらおうようにしていました。自分の論文を第三者に見てもらい指摘を受けることで、今後文章を書くときに気を付けるべきことがはっきりすると思います(私の場合は、アドバイスをもらった後からは、頭の中にあるロジックを省くので

はなく、一つ一つ記述するように意識していました)。

構成面について: TACの政策論文の授業にて、事前に構成はある程度考えていたので、本番もその型にはめて記述しました。また、試験中も、実際に書き始める前に、どのような構成でどのような内容を書くのかについて考えておくの良いと思います。私は、具体的に何を書くのかについて考える時間を約10分と長めに取っていましたが、特に後悔はありませんでした！むしろ、文章を書いている途中に次は何を書こうか...と悩むよりもストレスフリーですし、何より、一貫した論理が展開しやすくなるのでおすすめです！

➤ 悪かった点

事前準備として、政策研究にあまり時間を割けなかったことです。そのため、当日は民間インターンで学んだ「業界のトレンド」を取り入れながらなんとか記述しました。今となっては、国として何ができるかという視点がまだまだ不十分であったように思います(致命傷)。「国の視点」というのは、官庁訪問で就活生が必ず持つべき観点だと思うので、ぜひ皆さんには現段階から行政官の視点で物事を捉えていただきたいと思います(自戒)。逆に言えば、よっぽどのことがない限りは平均以下を取ることが少ない試験だと思うので、あまり気負いすぎず取り組むと良いと思います！

＜対策スケジュール(春試験)＞

	過年度LA (早めから準備したパターン)	高崎 (遅めから準備したパターン)
夏	講義を受講 答練①、②の提出&書き直し、自力での過去問演習 総合論文対策	なし
年末年始	答練③の提出	なし
1月	なし	なし
2月	なし	なし
3月	答練④の提出、論文模試	なし
4月	なし(1次試験に注力)	TACの政策論文グループワークに参加 一次試験後から高得点者の答案研究
5月	復元答案の分析	

【専門区分】LAの勉強スケジュール(1月～3月)

法律区分: 曾山

時	基礎	専門択一(必須)						選	記述
		憲法	民法総論	物権	債権総論	債権各論	行政法		
1月第1週	・数処 2問/日		・時効の講義を聞き直す。 ・テキスト復習。	・講義を聞き直す。	・テキスト復習	テキスト復習	・講義⑮ 視聴、演習 ・問題集(不服、争訟)	・労働法② 視聴	なし
1月第2週		・問題集	・問題集 ・債権各論テキスト復習(賃貸借)				・問題集	・労働法③④ 視聴	・憲法答練① ・民法答練①
1月第3週		・テキスト ・問題集	・テキスト ・問題集 ・演習②③終了					・刑テキスト ・財政学講義	・憲法答練② ・民法答練②③
1月第4週		・テキスト ・問題集					・行政法演習①②③ ・テキスト復習 ・問題集	・財政学問題集	
1月の進捗		・問題集3周目終了 ・演習1,2回復習	・家族法問題集2周目終了 ・テキスト1周				・問題集3周目終了 ・演習①②③		
反省点	専門に追われて2問もできず。	・手帳に詳しい記録が残っておらず、曖昧な表現ばかりでごめんなさい ・ひたすらテキスト復習と、過去問題集をやっていました。時々答練を解いたり、択一の演習を行っていました。 ・特に民法の不安な単元(物権・時効)は、講義を改めて聞き直していました。							
1月模試の結果	・文章 8/11 ・数処 8/16 ・知識 7/13 ・合計 23/40(平均20.7)	7/7	6/12				10/12	商法1 刑法2 労働法1 国際法1 財政学1	
		・合計29/40(平均22.0) 民法が半分しか取れなかったため、2月以降は改めて民法に力を入れることにしました。							

時期	基礎能力	専門択一				専門記述		
	数処	憲法	民法	行政法	選択	憲法	民法	行政法
2月1週	判断推理×1、資料解釈×1を週に2回ほど。	できるだけ毎日、30分~1時間テキスト復習	毎日テキストで一単元を復習、できれば演習も(あんまりやらない)	できるだけ毎日、1時間ほどテキスト復習、行政組合法演習	刑法・労働法・財政学を毎日各1時間ずつ勉強(講義見たり演習したり)	なし		
2月2週								
2月3週								
2月4週		なし	なし	なし	なし	過去問過去問(R4~2)、答練④	過去問(R3)、答練⑤	過去問(R3~2)
反省点	・特になし。 ・2/17が第2回択一模試だったので、それに備えて1~3週は択一の勉強を中心に行っていました。 ・2月最終週は、記述メインで、合間の時間で模試直しや省庁研究を行っていました。							
3月1週	ほぼなし	R3過去問	テキスト、問題集、R3過去問	問題集	なし	なし	論証集暗記	答練①②
3月2週	R4過去問	テキスト、R2過去問	テキスト、R2過去問	テキスト、R2過去問	労働法講義	なし	答練⑥	なし
3月3週	R3~2過去問、時事講義	テキスト、R元・H30過去問	問題集、テキスト、R元・H30過去問	問題集、テキスト、R元・H30過去問	暗記	なし		
3月4週	地理	テキスト、問題集、まとめ講義、H29過去問	問題集、まとめ講義、H29過去問	問題集、テキスト、H29過去問	暗記			
反省点	・反省点は、選択科目に自信がなさ過ぎて血迷った挙句、謎に国際法や商法を数時間勉強してしまったことです(黒歴史)。絞った科目を固めましょう。 ・3/10が論文模試だったので、お話し感覚で受けに行きました。とりあえず答案を字で埋めたことは覚えています。 ・択一对策がメインです。							

経済区分：北

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月第1週	たまに数的処理の問題を解いていた	経済原論	経済政策(講義)
1月第2週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(講義) 政策論文
1月第3週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(答練)
1月第4週		国際経済、財政理論	経済理論 経済政策(答練)

反省点	なし	財政制度に手を回すことができなかった、、、	なし
-----	----	-----------------------	----

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月第1週	なし	演習:経済理論基礎、統計 講義視聴:経済理論応用	なし
2月第2週	なし	演習:経済理論基礎、統計 講義視聴:経済理論応用	なし
2月第3週	模試に向けて 文章理解と社会科学を復習	演習:経済理論基礎(完) 経済理論応用 講義視聴:経済理論応用(完) 経営学	なし
2月第4週	第1回択一模試 受験後は模試の振り返り	演習:経済理論応用 講義視聴:経営学(完)	なし
反省点	数的処理も多少は触れておくべきだったかもしれない	根詰めすぎて最後は若干体調を崩してしまった(しかしスケジュールの余裕のなさを考慮すると仕方なかった気もする...)	なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3月第1週	第1回模試で振るわなかった文章理解を再度振り返り	演習:経済理論応用	なし
3月第2週	第2回択一模試 終了後はできなかった問題を振り返り	演習:経済理論応用	なし
3月第3週	なし	演習:経済理論応用 統計	なし
3月第4週	なし	演習:経済理論応用(ここで1 周目が終わったくらい) 統計(完)	なし
反省点	なし	民間就活に時間を割きすぎてしまい、演習のペースが落ちてしまった...	なし

政治国際区分：高崎

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
1月	テスト期間のため、なし	<u>必須科目</u> 政治学・国際関係の動画を見終わる	なし
反省点	大学の期末テスト勉強のため、ほとんど何もしていないが、仕方なかった。		なし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月第1週	①基礎能力試験 12月の基礎能力模試・1月の模試の結果を踏まえ、文章理解は英語の並べ替え問題のレジュメを読み過去問を週に1問程度解く。数的推理は、資料解釈を1週間に2問程度解く。 ②知識問題 何もしない	①必須科目 政治学・国際関係の模試の復習・過去問演習を開始する。過去問を解くときは、先月のレジュメに書いたような演習の仕方をする。(気になる方は聞いてください) 憲法の過去問の解答を読み始める ②選択科目 行政学の動画を3回分ぐらいみる。国際法の過去問に手をつけはじめる。(1週間に10問ぐらい)	特になし。 論述模試を受ける
2月第2週			
2月第3週			
2月第4週			
反省点	2月に受けた模試で撃沈して、焦る。専門択一試験の勉強に本腰をいれる。 民間就活に本格的に手を出し始めて、時間が削られた。もっとと公務員試験の勉強に力をいれるべきだった。		特になし

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
3月	<u>①基礎能力試験</u> 文章理解・数的処理が安定して高得点をとれたので、ほぼ何もしていない。 <u>②知識問題</u> <u>時事問題のみ直前に頑張る。</u> <u>時事系の授業動画を寝ながら流してなんとなく聞き覚えのある知識を増やしていた。</u>	2月と同じ	論述模試の結果がまあまあだったので、1次試験まではこのまま知識をいれることに集中すると決める。 採点のために、数回は答案を書いたかもしれない(あんまり覚えてないですすいません)
反省点	専門択一の試験勉強にとにかく力をいれた。政治学・国際関係に全振りして勉強していた。本番、点数源にする予定だった国際法がほぼわからなかったのも、選択も科目や範囲を絞ってもいいが勉強するべきである。 就活に時間をかけすぎたかもしれない。せめて業界は決めておくべき		

政治国際区分：吉田

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
----	------	------	------

1月	数的処理: 判断推理・資料解釈に絞って対策。1.5h/日で大体5~8問を目安に解いていく。問題の正誤＋感覚を鈍らせないことも意識する。 文章理解: 苦手意識のあった日本語の並び替え問題を問題集で練習 人文科学: 日本史, 世界史, 西洋東洋思想の復習。	【講義】 憲法・国際法の受講開始 【演習】 政治学・国際関係の問題集	なし
良かった点	1月中に憲法と国際法の受講を終え、自分の得点源になる科目・分野に目星をつけられた点。		
反省点	数的処理の対策分野を早い段階で絞りすぎたこと		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
2月	数的処理: 判断推理・資料解釈に絞って対策。1.5h/日で大体5~8問を目安に解いていく。問題の正誤＋感覚を鈍らせないことも意識する。 文章理解: 苦手意識のあった日本語の並び替え問題を問題集で練習 人文科学: 日本史, 世界史, 西洋東洋思想の復習。	【講義】 行政学の受講開始 財政学の受講開始 【演習】 政治学・国際関係の問題集 (政治学は冊子が分厚く一周やりきれなかった) 【復習】 問題演習を通じてみつかった苦手や知識の定着が甘い分野の講義を受け直すなどする (各国政治制度など)	政治学と国際関係 (それぞれ2枚ほど。記述答案の作成にあたって求められる情報の細かさ、形式などの感覚を掴むためトライ)
良かった点	数的処理の苦手分野を捨てたこと。専門択一での得点、合格点獲得の目途が「なんとなく」たったことで、専門択一对策に集中することができた		
反省点	朝の4~7時に寝て15~17時に起きて勉強するみたいな生活はよくなかった。非常に。		

時期	基礎能力	専門択一	専門記述
----	------	------	------

3月	1月,2月の内容に加え、 これまでの模試直し	【演習】 国際関係:1回目の演習完 (その後まちがえた問題のみを 2~4周する) 国際法・憲法・行政学 :1回目の演習完(その後は国 際関係と同じく間違えた問題だ け2~4周する) 【復習】 問題演習を通じてみつけた 苦手や知識の定着が甘い分野 の講義を受け直すなどする (選挙制度、行政学理論)	2月の内容に加え、 行政学にもトライ (保険科目として使う)
良かった点	専門択一の問題集をひとまずやりきったこと。 →問題集の中で解いてない問題がないという「自信」がついたのがよかった。また、間違えた問題から苦手な分野の目星をつけ、再度復習に時間を当てるなど「より効率的な対策」へとつながった。		
反省点	朝の4~7時に寝て15~17時に起きて勉強するみたいな生活はよくなかった。非常に。		

【前回いただいた質問への回答】

Q. どのようにメンタルケアをしていましたか

A.

高崎：ラテンの音楽を聞いていました！暗い気分のときにとりあえず元気がでできます。イヤホンで爆音で流しながら自分の部屋でちょっと踊ってました。明るい気分になります！詳しくは、12月のメールニュースに書いてあるはずです！笑

Q. 官庁訪問に関する情報収集はどのようにしていましたか

A.

吉田：同じ大学の先輩や、校舎でのカウンセリングを通して情報を収集しました。「これを知っていなければ落ちる！」といったことはないので、あまり気負いすぎる必要はないと思います。とはいえ、何も知らないまま本番を迎えるのも心配かと思うので、当日の流れと勝負どころの面接（形式・内容）は最低限確認しておくと思いいます。

高田：官庁訪問までの準備、訪問中に心掛けていたことなどについては、TAC発行の官庁訪問体験記を読んだり、内定者と話したりすることで自分に有益な情報を集めていました。各省庁ごとで内々定のために重要視されていることは少しずつ違うものの、共通する部分は大きいあるので、他省庁の内定者にも積極的に話を聞きに行きました。

Q. 業務説明会で意識していたこと

A.

吉田：自分がその業務をあつかう部署に配属されたときに興味をもって取り組めるか、また興味のある分野とあまり興味のない分野の業務割合はどれくらいか比較していました。自分の興味のある分野について（異なる角度・異なる手続の段階で）複数省庁が所管している場合もあるので、役割の違いや社会に及ぼす影響力の違いなどについても意識して省庁を比較すると良いと思います。（Ex.「経済連携協定・投資協定」について、経済産業省と外務省など）

高田：業務説明会では、分からないことを解消する目的で参加していました。そのため、事前に資料が配られる場合には、予めざっと確認しておき、自分の中で不明点を洗い出していました。また、（当たり前ですが）業務説明会後にアンケート提出が求められた時には、必ず回答していました。アンケートの回答（感想など）をWORDに残しておいたことで、官庁訪問対策を効率よくできたように思います。

【今後の告知】

★LAカウンセリング★

内定者アドバイザー(LA)が、皆さまのご希望に合わせてカウンセリングを行います！
学習相談、官庁訪問対策、息抜きなど、利用目的は何でもOK！



北圭佑

- #経済区分/デジタル庁・人事院
- #単願の鬼
- #志望官庁迷走の経験
- #勉強してない汗って人も相談大歓迎



高崎萌寧

- #政治国際/外務省/農水省
- #初学・短期決戦型
- #民間(シンクタンク)併願
- #元法曹志望

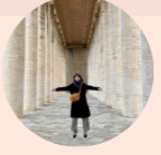


吉田統磨

- #政治国際/①外務省②経産省
- #言語化の鬼
- #専門択一8割の勉強法
- #面接対策ガチ勢

在席日一覧は
コチラ





高田萌奈

- #教養区分/農林水産省
- #人文系学部
- #就活中にイタリア渡航
- #省庁イベント活用のコツ



曾山稔理

- #法律区分/内閣府
- #公務員併願(法律)
- #話下手の官庁訪問の乗り越え方

予約はコチラ



★お一人何回でもご利用いただけます！試験や面接、官庁訪問や志望動機についてなど、なんでもご相談ください。★



★2月ホームルーム★

国家総合職合格への道～？？～

一志望動機の作り方・官庁訪問の実際 Vol.2ー

2/9(金) 18:30～19:30 オンライン

2/14(水) 16:30～17:30 新宿

予約不要、入退室自由です！

アンケートのご回答をお願いします！

